第１３回医薬品セキュリティ研究会フォーラム

『身近に迫る偽造医薬品の影』

2025.8.29［FRI］
14:00-17:30（技術交流会17:40～）
※受付開始時間 13:30

リファレンス麹町貸会議室 4階　KJ404

東京都千代田区麹町3丁目1-1麹町311ビル4F
主　催：一般社団法人　医薬品セキュリティ研究会

■ 参加方法 ： 下記よりお選びいただけます
- 会 場 ： リファレンス麹町貸会議室 4階　KJ404　（定員50名/先着順）
- WEB ： ライブ配信によるオンライン参加（定員制限なし）

■ 参 加 費 ：

	フォーラム（不課税）	技術交流会（税込）
会　　員	8,000円	6,000円
非 会 員	13,000円	6,000円
学　　生	無料	3,000円

■ お申し込み方法 ：本フォーラムへの参加は事前登録が必要となります。
当会ホームページより「申し込みフォーマット」をダウンロードの上、
必要事項を御記入頂き、フォーラム事務局のアドレス（E-mail：info@secure-design.jp）にご送信下さい。
登録完了となり次第、登録完了メールを送信させて頂きます。

当会ホームページ（URL: https://www.secure-design.jp）を開きます
↓
HOME画面で、「発表　conference」をクリック
↓
「医薬品セキュティ研究会主催フォーラム」をクリック
↓
「第13回医セ研フォーラム申し込みフォーマット」をクリック
↓
申し込みフォーマットがダウンロードされます
↓
必要事項を御記載の上、フォーラム事務局（E-mail: info@secure-design.jp）へ送信
↓
登録完了メールが届きます

■ 共　催：金沢大学医薬保健研究域附属AIホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究開発センター

■ フォーラムに関する問い合わせ先

一般社団法人　医薬品セキュリティ研究会　フォーラム事務局
E-mail：info@secure-design.jp
URL.　https://www.secure-design.jp

第13回［2025］フォーラム開催に向けて

第13回目の医薬品セキュリティ研究会フォーラムでは「身近に迫る偽造医薬品の影」をテーマに掲げます。世界保健機関（WHO）の過去1年余に発表されたMedical product alertには、伝統的ともいえる抗菌薬マラリア関連品、麻薬、プロピレングリコールの偽造医薬品や不良医薬品の出現に加え、新しく市場に投入された抗がん剤や糖尿病治療薬に偽造品の警告が発出されています。また、米国FDAからは、内臓脂肪減少薬や末梢性筋弛緩薬、糖尿病治療薬の偽造品が報告されています。これらの偽造品は正規の流通経路で出現している一方、供給者が認めていないオンライン販売が行われているものもあります。

OECD/EUIPOが公表した2020-2021税関押収データによる「偽造品の世界貿易解析」では、製薬産業は偽造される産業の16位、押収割合は96製品群中15位にランクインしています。特徴的手法としては部品運搬・現地組立てなどと共に、オンラインプラットフォームや最新の物流を利用して正当な取引に侵入しています。「日本には偽造医薬品事案はない」と安心しないで下さい。日本にも常に偽造医薬品が侵入している可能性が高く、電子商取引プラットフォームでの偽造医療機器販売の裁判が進行しています。また、他山の石と見ていたフェンタニル関連事案に我が国の関与が指摘されています。さらに、若年層における濫用が深刻化している一般用医薬品の規制が強化されましたが、入手しにくい事態が偽造品出現の素地になります。油断は禁物です。

本フォーラムは、2013年に「偽造医薬品と闘う技術の最前線」というテーマで開始され、偽造医薬品の実態と対策を共有し、偽造防止技術のシーズとニーズのマッチングを図ってきました。12年経っても、おさまるどころか益々広範、複雑化する世界の偽造医薬品事情に、わが国も安穏としてはいられません。医薬品だけでなく医療機器や医薬部外品、化粧品など問題を抱える分野と手を携えて、一層強力に偽造問題に立ち向かわなければなりません。講演後に技術交流会を復活しておりますので、ご参加され、知見の交換や知人の獲得にご活用いただきますようお誘い申し上げます。

一般社団法人　医薬品セキュリティ研究会
代表理事　木村　和子

PROGRAM

14：00～14：05

開会の挨拶

木村　和子　／　一般社団法人　医薬品セキュリティ研究会　代表理事
金沢大学　名誉教授

14：05～14：45

講演　1　『Novo Nordisk GLP-1製剤の偽造品の実情は？』

木村　佳正　／　ノボ ノルディスク ファーマ株式会社　開発本部　クオリティー＆ファーマコビジランス統轄部
取締役　VP クオリティー＆ファーマコビジランス ジャパン

14：45～15：35

講演　2　『一般用医薬品における濫用防止の取り組み』

川瀬　一朗　／　エスエス製薬株式会社　ローカルブランドR&D　リード

15：35～15：45　質 疑 応 答

15：45～15：55　休　　憩

15：55～16：35

講演　3　『消費者事故等の情報収集・分析および消費者に対する注意喚起について』

田幡　佳弘　／　消費者庁　消費者安全課　総括係長

16：35～17：15

講演　4　『蛍光パターン認識を用いた偽薬検知手法の開発とその社会実装可能性』

青木　洋一　／　コニカミノルタ株式会社　技術開発本部　デバイス技術開発センター　マテリアルデバイス開発部
アシスタントマネージャー

17：15～17：25　質 疑 応 答

17：25～17：30

閉会の挨拶

上林　裕始　／　武田薬品工業株式会社　グローバルクオリティー 信頼性保証統括部　統括部長　医薬品総括製造販売責任者

17：40～19：30

技術交流会　＜　4階　KJ405　＞